

# 復興道路のコンクリート構造物の高耐久化と技術の社会実装

横浜国立大学提供  
作成日 2016年2月22日  
更新日



<b>研究者氏名</b> ほそだ あきら 細田 暁	<b>所属機関</b> 横浜国立大学 都市イノベーション研究院	<b>関連キーワード(複数可)</b> コンクリート、耐久性、品質確保、ひび割れ、表面吸水試験、橋梁、トンネル、建設マネジメント
<b>主な研究テーマ</b> ・コンクリート構造物の品質向上 ・コンクリート構造物の耐久性向上 ・表面吸水試験(SWAT)の開発・改良・品質評価法		<b>主な採択課題</b> ・基盤研究(B)平成26~28年度(配分総額:16,120千円) 課題名「復興道路コンクリート構造物の品質確保マネジメントシステムの実装と展開」

## ① 科研費による研究成果

・短期間に限られたマンパワー、材料で建設される復興道路のコンクリート構造物は、厳しい環境作用で供用されるために、耐久な構造物とすることは極めて困難である。本研究では、構造物の品質向上のための具体策について各種研究を行い、その成果等に基づいて、東北地方整備局において、十分な耐久性を発揮するコンクリート構造物を建設する仕組みが構築され、「コンクリート構造物の品質確保の手引き(案)」として取りまとめられた。

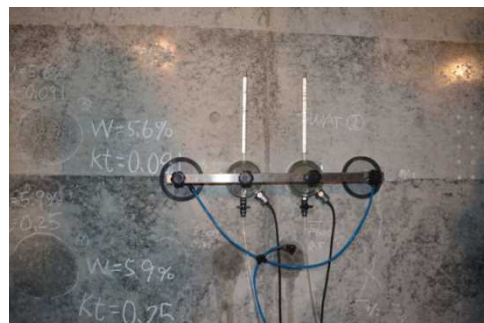
・品質確保の手引き(案)には、開発した目視評価法、表面吸水試験法(SWAT)等が取り込まれた。

・品質確保の手引き(案)は、橋台・橋脚・函渠・擁壁等の一般構造物編が2015.12に制定・通知され、トンネル覆工コンクリート編が2016.5に制定・通知された。

[http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/tebiki/160204\\_konkuritokouzoubutu.pdf](http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/tebiki/160204_konkuritokouzoubutu.pdf)



目視評価法



表面吸水試験(SWAT)

## ② 研究成果のその後の展開など

・産官学協働による東北地方整備局での品質確保・耐久性確保システムの高度化、日本各地・世界への展開。マスコミでも多数紹介。



出典: <http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/700/232013.html>



日経コンストラクション  
2014/11/24号

## ③ 今後期待される波及効果、社会への還元など

・産官学の協働による、実構造物群を題材にした品質確保・耐久性確保の取組みはさらに大きな流れになる。得られた成果は、学会・国・自治体等の設計・施工・維持管理規準等に反映され、ポジティブスパイラルが形成される。

・技術開発、技術の社会実装が促進される。